

令和4年度

携帯・スマホ等の利用等に関する
状況調査の結果について



- ・インターネットの利用は、日常の生活の中に定着している
- ・電子機器の利用について、各家庭でルールを工夫している
- ・携帯やスマホを持たせてよかった点、心配な点の両面がある
- ・携帯やスマホによるトラブルに巻き込まれた事例がある
- ・フィルタリングを利用している家庭が少しずつ増えている



市P連では

「市内統一事項」の徹底と「わが家のルールづくり」を進め、成長に合わせた段階的使用を通して、正しい情報モラルの習得、健全な生活リズムの確立のための体制づくりに努めています。

豊川市小中学校PTA連絡協議会

令和5年3月

状況調査 概要

今年度途中から、学校ではタブレットを利用した授業が始まりました。それにともなうインターネットの利用はごく普通のようになっています。今年度も、インターネットの利用の目的や利用時間、携帯・スマホの所持率について調査をしました。また、各家庭でのルールや、携帯・スマホを持たせて良かったことや心配なこと、フィルタリングの有無についても焦点をあてて調査をしました。実際に経験したトラブルについても調査しました。

1. インターネットの利用状況

(1) 利用の有無

- 小中学生ともに、前年度より利用の割合が高くなっている。
- 中学生の99%がインターネットを利用している。

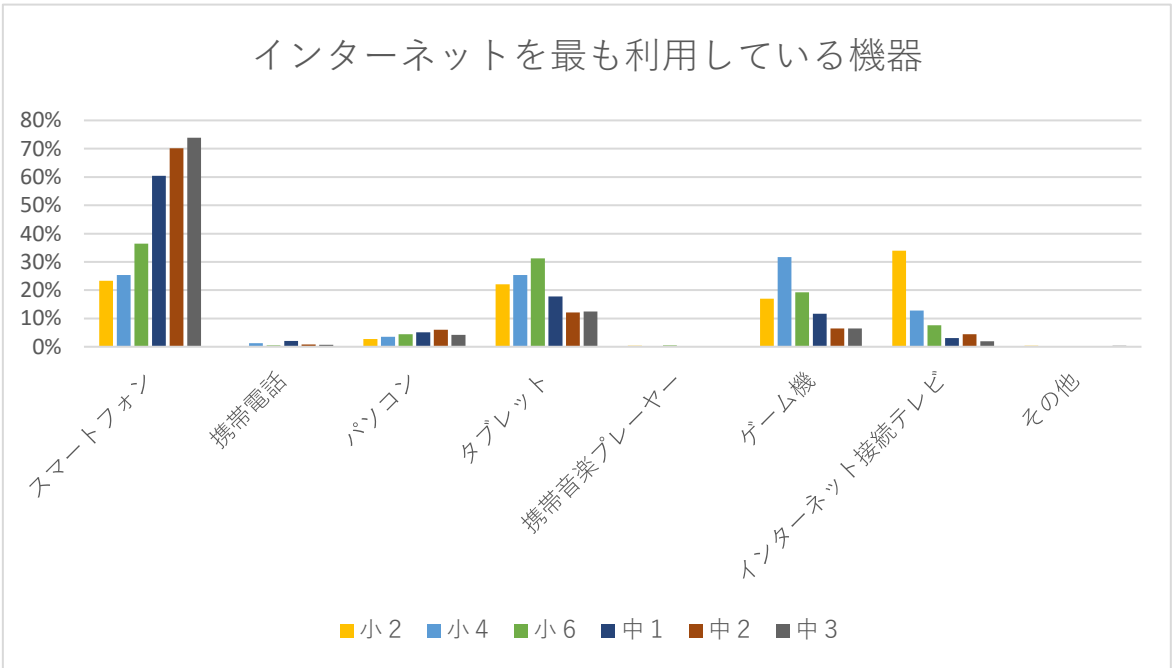
利用の有無 (R4)									
学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	301	348	399	201	248	266	1048	715	1763
利用している	84.1%	89.7%	96.2%	98.0%	100%	99.2%	90.6%	99.2%	94.0%
利用していない	15.9%	10.3%	3.8%	2.0%	0.0%	0.8%	9.4%	0.8%	6.0%

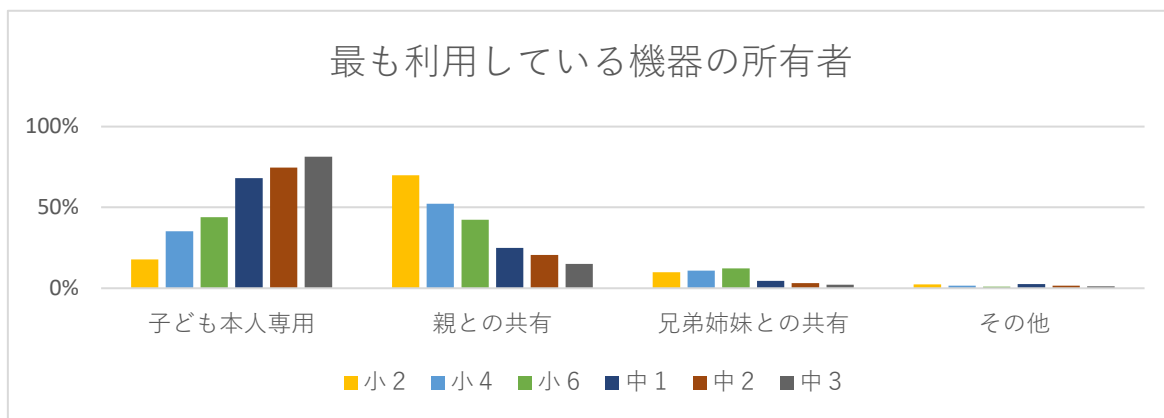
↑

利用の有無 (R3)									
学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	651	708	745	282	324	319	2104	925	3029
利用している	82.9%	91.0%	96.1%	96.8%	96.6%	99.1%	90.3%	97.5%	92.5%
利用していない	17.1%	9.0%	3.9%	3.2%	3.4%	0.9%	9.7%	2.5%	7.5%

(2) インターネットを最も利用している機器とその所有者

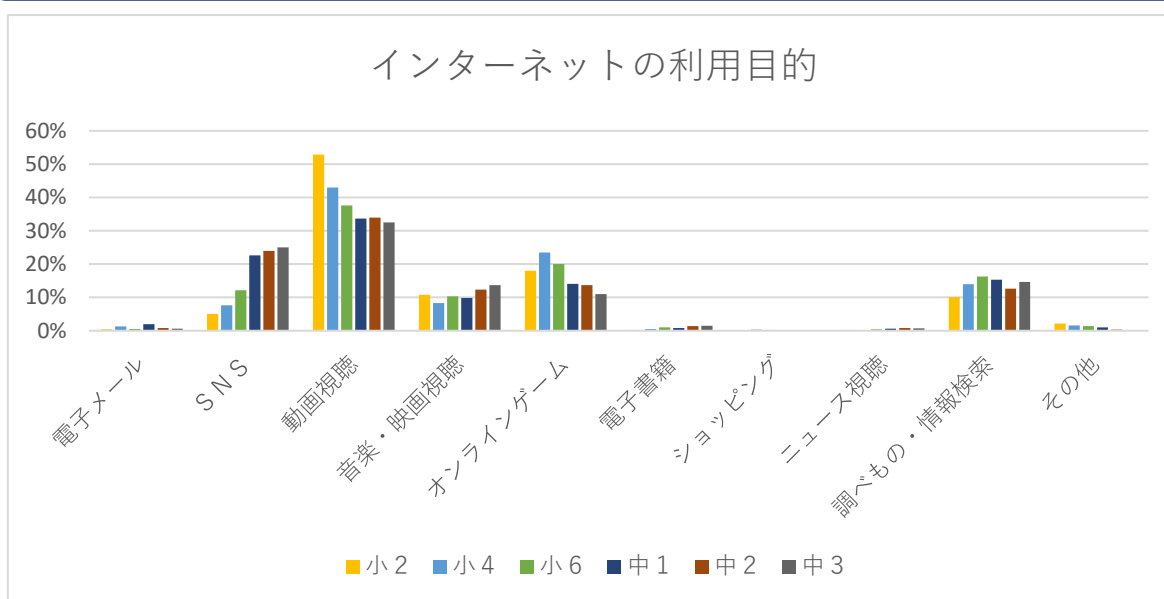
- 小中学生ともにスマートフォンが1位、タブレットが2位、ゲーム機が3位となっている。
- 小学校2年生では、インターネット接続のテレビの割合も高くなっている。
- 機器の所有者は、小学校では「親との共有」、中学校では「子ども本人の所有」の割合が一番高くなっている。





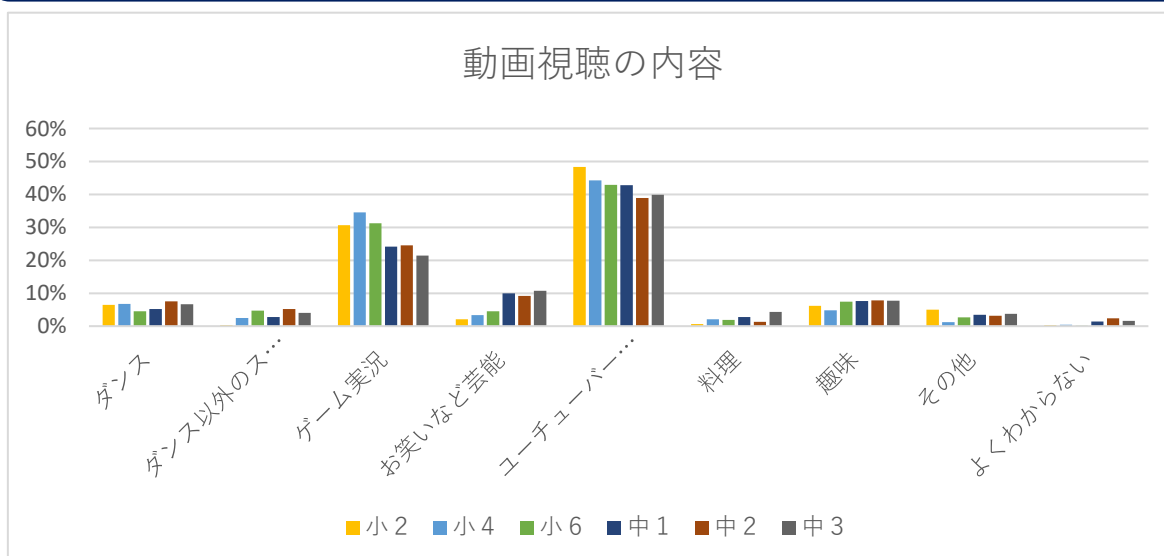
(3) 利用の目的

- 小中学生すべての学年で、動画視聴が1位となっている。
- 小学生ではオンラインゲーム、中学生ではSNSの割合が高くなっている。



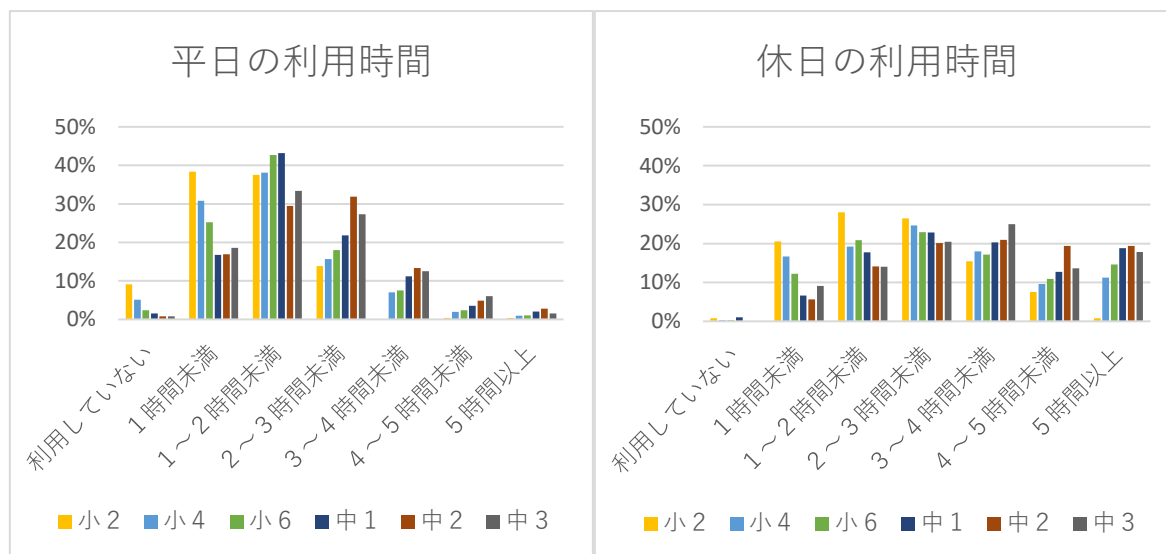
(4) 動画視聴の内容

- 小中学生ともに、「ユーチューバーチャンネル視聴」の割合が高くなっている。
- 小学生では、「ゲーム実況視聴」の割合も高くなっている。



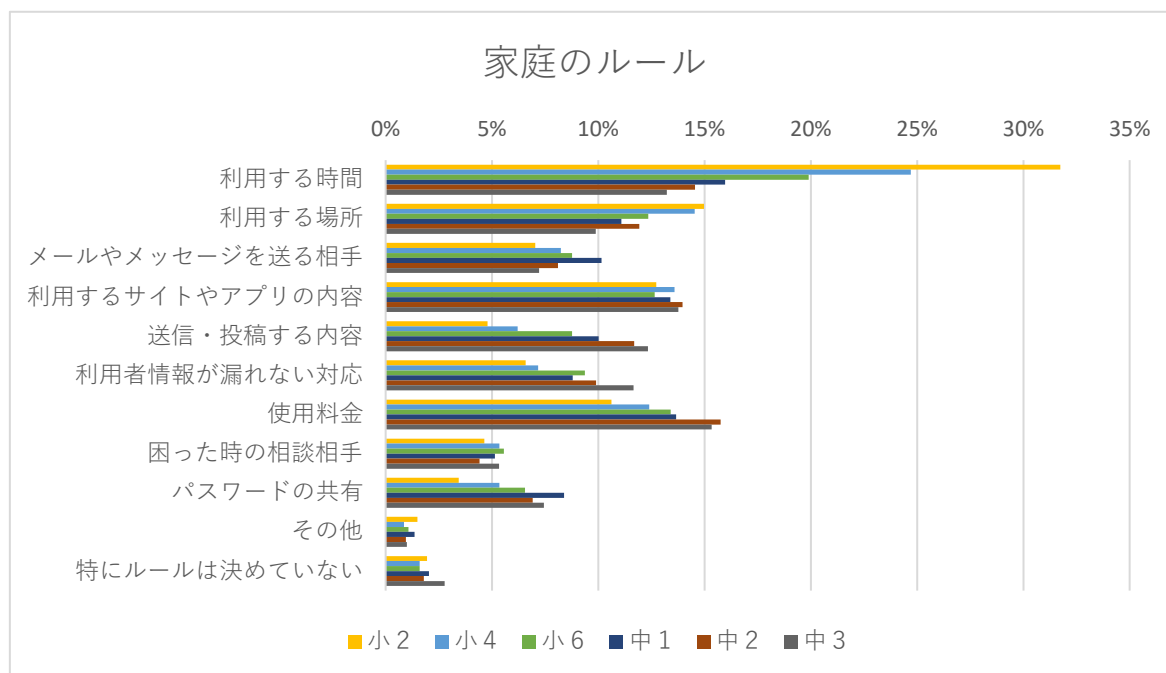
(5) 利用の時間

- 平日よりも休日の方が利用時間が長時間にわたる傾向がみられる。
- 平日の利用で、小学生は2時間未満が多く、中学生は1～3時間未満が多くなっている。
- 休日の利用で、中学生の20%近くが5時間以上の利用となっている。



(6) 利用についての家庭でのルールとその決め方

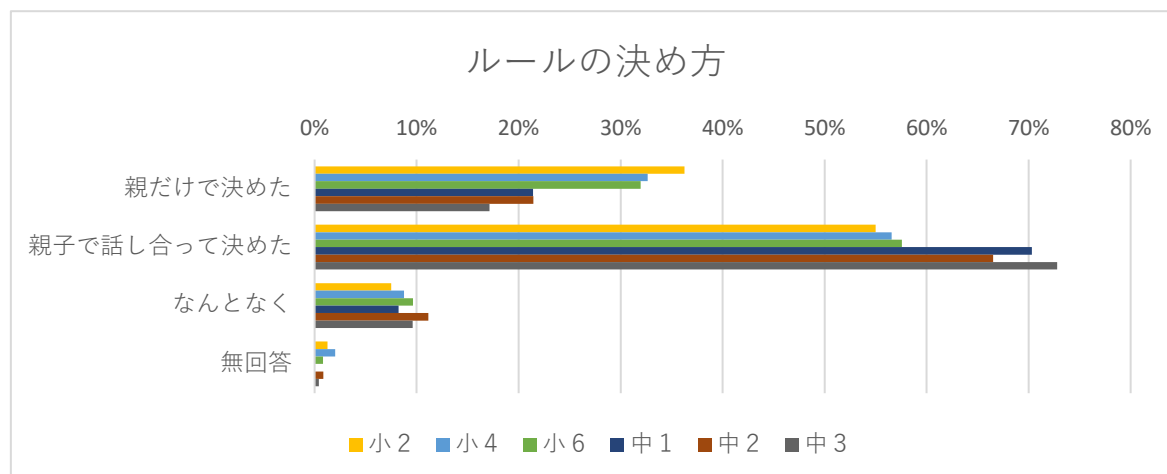
- ルールの内容は小中学生ともに、「利用時間」、「場所」、「サイトやアプリの内容」、「使用料金」についての割合が高くなっている。
- 中学生では、「送信・投稿する内容」や「利用者情報が漏れない対応をしている」家庭も多い。
- 小中学生ともに、「親子で話し合っている」家庭が多い。



◇その他

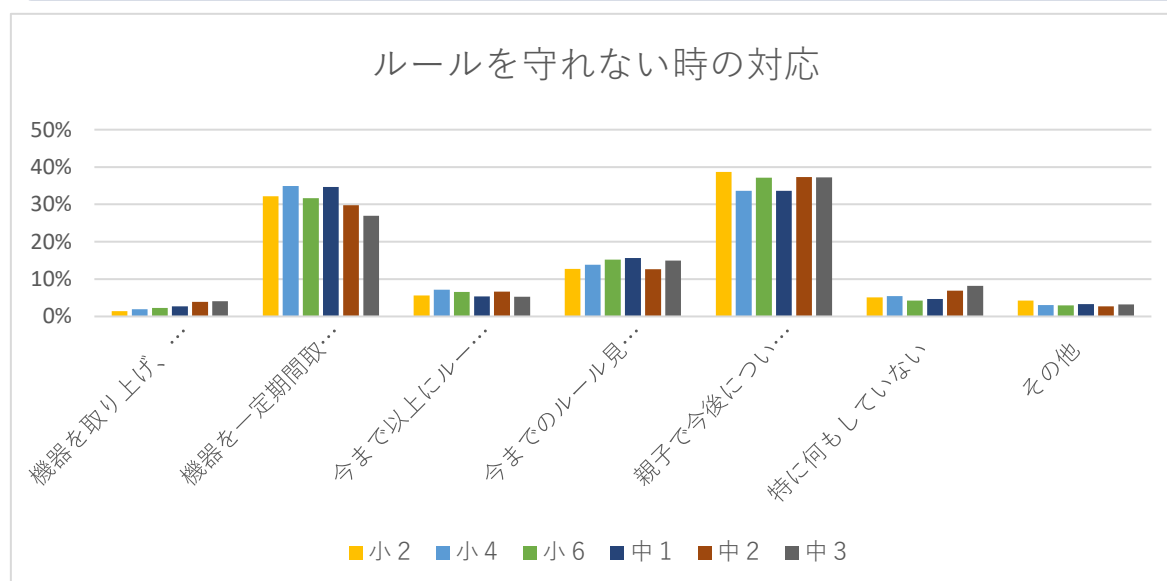
- 小学生：
- ・パスワードは親が管理し、親が入力している。
 - ・一人で使わないで、常に親と一緒に使う。
 - ・使う前に「～していい？」と親の許可を得る 等。

- 中学生：
- ・ファミリーリンクを利用して、居場所やアプリを管理している。
 - ・人が写っている写真や動画は絶対に載せない。
 - ・不定期でデバイスを確認。いつ見られても恥ずかしくない使い方をする。
- ▼ルールを決めているが守られないことが常態化している



(7) ルールが守られない時の対応

- 小中学生ともに、「親子で今後について話し合う」の割合が最も高く、「機器を一定期間取り上げる」が次に高くなっている。
- 「今までのルールを見直し」たり、「今まで以上に厳しくする」家庭もみられる。
- 「その他」では、子どもが自分で考える機会を作ることも書かれていた。
- 現在は守られているので、特に決めていないという家庭もあった。

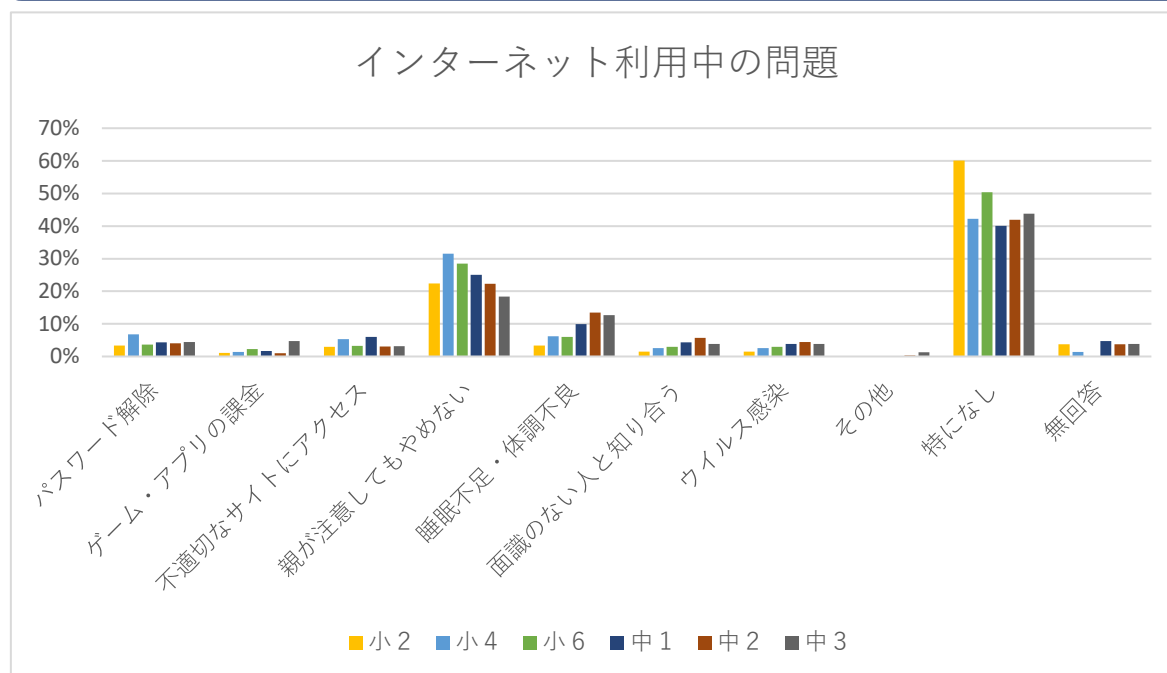


◇その他

- 小学生：
- ・お小遣いなしや長期休業中の祖父母宅への旅行禁止。
 - ・超過した時間、次の日の使用時間からマイナスしたり、使用禁止とする。
 - ・なぜ守れなかったのか、どうしたら守れるのかをコーチングする。
 - ・すべての行いは自分に振り返ってくるものだとして教育しているので、本人が一番反省するのだと感じる。
- 中学生：
- ・制限をかけたり、時間を減らす。
 - ・デバイスは取り上げず、フィルタリング機能を利用して一定の機能を無効にする。
 - ・自分で守れるルールについて、プレゼンさせる。

(8) インターネット利用中の問題

- 小中学生ともに、「親が注意してもやめない」の割合が最も高くなっている。
- 小中学生ともに、「特になし」の回答が多かった。
- 「その他」では、ゲームに関する問題について書かれていた。また、中学生では、学習への影響や親にわからないように操作している様子も書かれていた。



◇その他

- 小学生：
- ・ゲームができずにイライラする時がある。
 - ・ゲーム依存、昼夜逆転、不登校、過食、不衛生、入院。
 - ・オンラインゲームで、面識のない人と会話をしながらゲームをしていた。
 - ・オンラインゲームで、友達に暴言をはいてしまう。
 - ・パスワードを解除してゲームアプリをDLしていた。
- 中学生：
- ・話しかけた時にゲームに夢中だったため、親が不機嫌になった。
 - ・LINEのコメント送信を、内容を見られないように削除していた。
 - ・何をしても通知音を気にして、課題や受験勉強に集中しなくなった。
 - ・メッセージのやり取りを過剰にしている高い利用料金が発生した。
 - ・顔認証にしている、親が確認することができない。

- ◎ インターネットの利用は、日常生活の中に定着
- ◎ インターネットの利用目的は、動画視聴をはじめ多様化
- ◎ インターネットの利用時間は、休日において長時間利用
- ◎ インターネット利用時のルールを設定している家庭が多いが、なかなか守られていない状況
- ◎ インターネット利用中に、様々な問題が発生

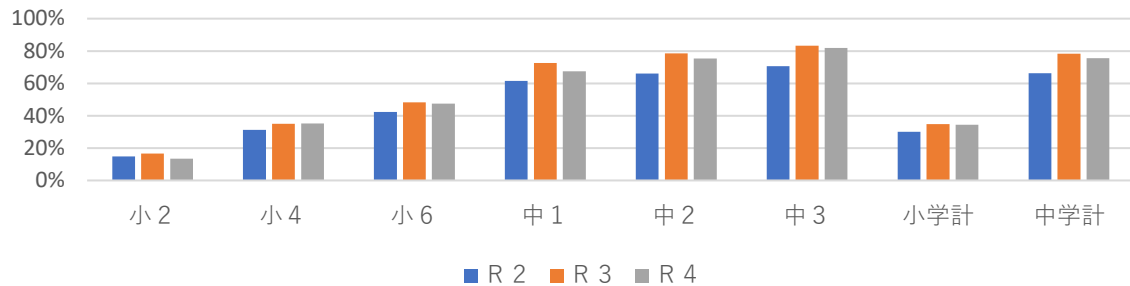
2. 携帯・スマホの所持

(1) 携帯・スマホの所持状況

- 小中学生ともに、携帯・スマホの所持率は前年度と大きな変化はない。
- 中学校へ進学することをきっかけに、携帯・スマホを所持する人が多い。

携帯電話・スマートフォンの所持状況

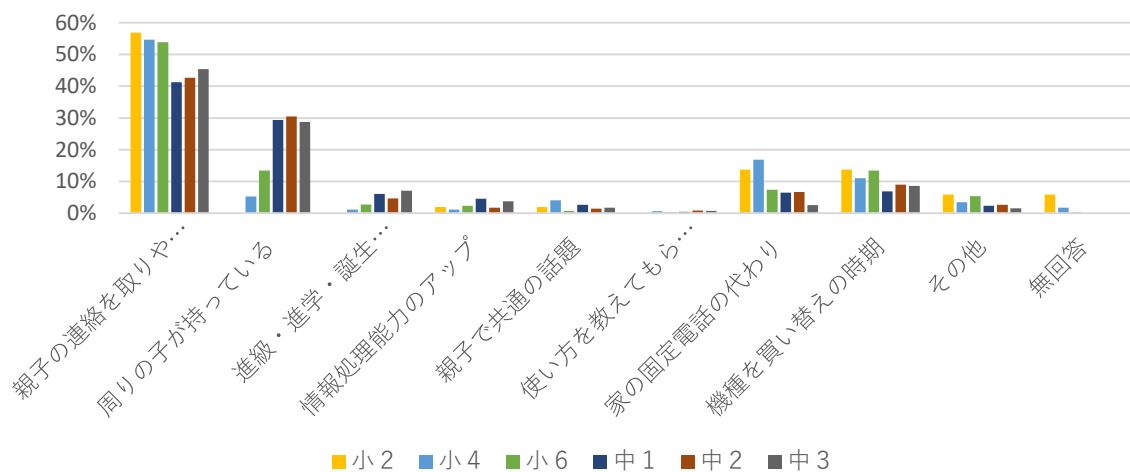
※両方またはどちらかを持たせている



(2) 持たせた理由

- 小中学生ともに、「親子の連絡を取りやすい」の割合が最も高くなっている。
- 中学生では、「周りの子が持っている」ことも所持のきっかけとなっている。
- 小学生では、「機種買い替えや」「固定電話の代わり」の理由も目立つ。
- 「その他」では、子どもの安全確認のための理由が多かった。また、中学生では、習い事やクラブチームでの活用、高校体験入学に関する意見もあった。
- 「その他」では、将来のことを考えて持たせている意見もあった。

持たせた理由

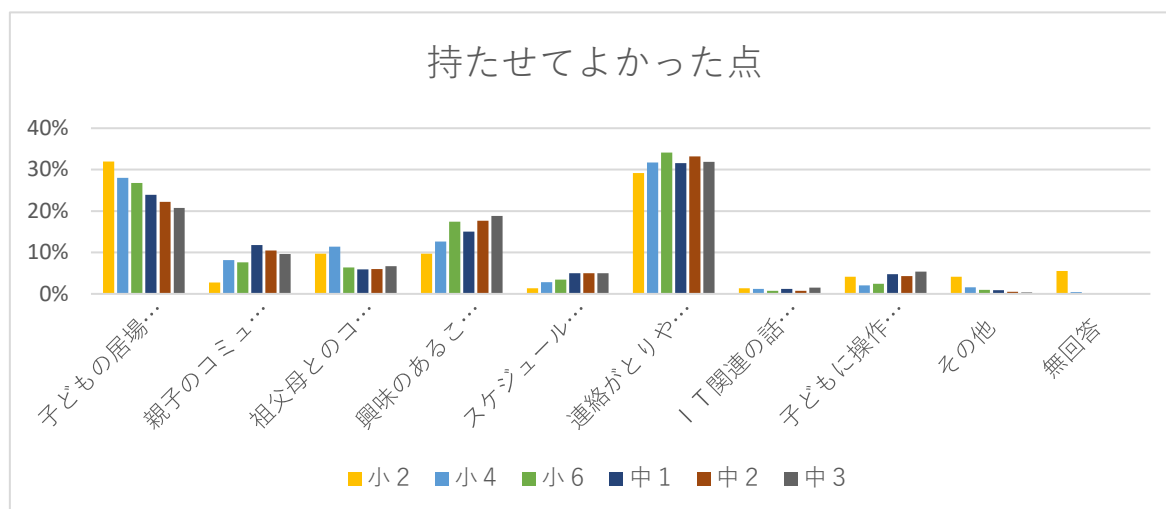


◇その他

- 小学生：
- ・GPSで居場所の確認をしたり、目的地への移動の見守りをするため。
 - ・遠方にいる祖父母とのコミュニケーションのため。
 - ・親が仕事のため、家では一人であることが多いため。
- △今の時代には必要なものと考える。
- △中学生から習い事で電車移動するため、今からスマホになれるため。
- 中学生：
- ・習い事で調べることが多いため。
 - ・クラブチームで動画をチェックする必要があるため。
 - ・部活動の連絡がLINEで来るため。
 - ・高校の体験入学で電車の時間や場所を調べたりするため。
- △禁止するのではなく、使っていく過程で危険性などを学んでいくべきという方針のため。
- △高校生以上に必要な機器と思っているので、行動範囲や交友関係がわかりやすい中学生のうちに正しい利用方法や付き合い方を身につけるため。

(3) 持たせてよかった点

- 小中学生ともに、「子どもの居場所がわかる」や「連絡がとりやすくなった」の割合が高くなっている。
- 小学校6年生から中学生では、「興味のあることを調べられる」割合も高くなっている。
- 「その他」では、積極的な考え方をする意見もあった。



◇その他＜抜粋＞

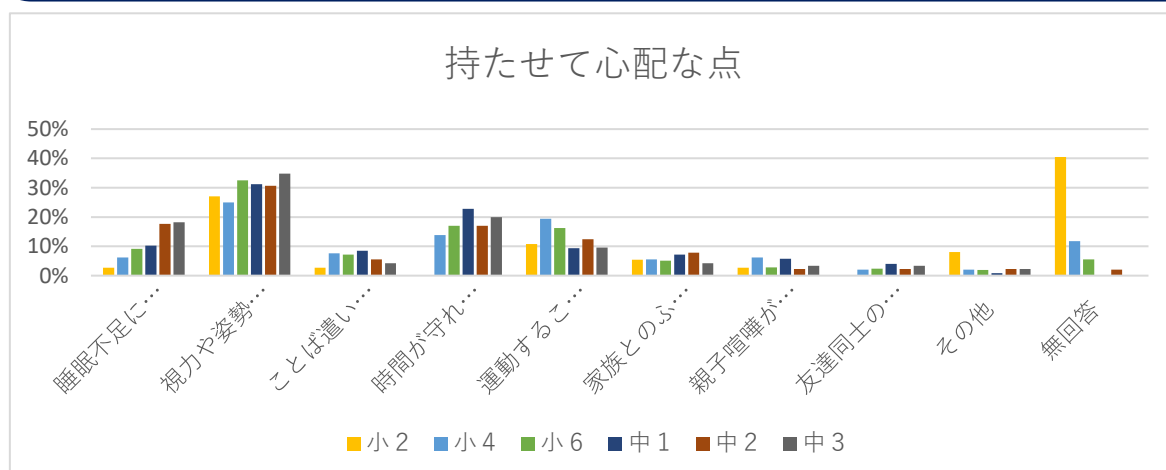
- 小学生：
- ・緊急時のスマホの操作方法など教えることができた。
 - ・長期休業中の連絡手段として有効だった。
 - ・適切な検索ワードがわかるようになってきた。
 - ・無料のアプリでの学習や動画で学べることができた。

- 中学生：
- ・デバイスの使用時間を逆算し、1日の時間配分を考えるようになった。
 - ・いい意味で、友達から遊びに誘ってもらうことが多くなった。

△良い悪いではなく、今の時代にスマホやタブレット、パソコンから遠ざけていては子どものためにならないので、道具として使いこなせるようになってもらうだけ。

(4) 持たせて心配な点

- 小中学生ともに、「視力や姿勢が悪くなった」の割合が最も高く、「睡眠不足」や「運動することが少なくなった」のように健康に関する回答の割合が高くなっている。
- 小学校6年生から中学生までは「時間が守れなくなった」との回答の割合も高くなっている。
- 「その他」では、他の人とのつながり方や親に内緒での使い方を心配する声があった。



◇その他＜抜粋＞

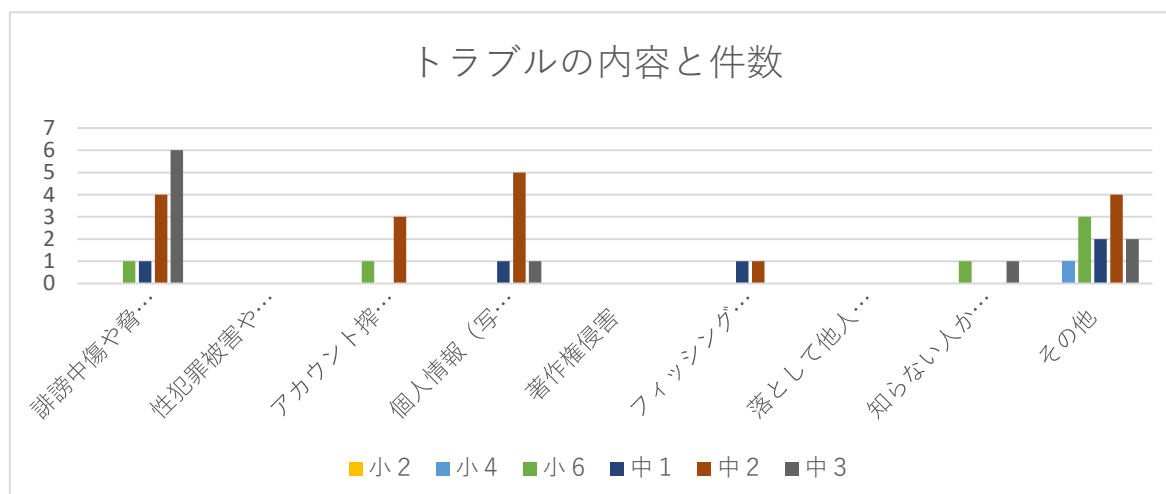
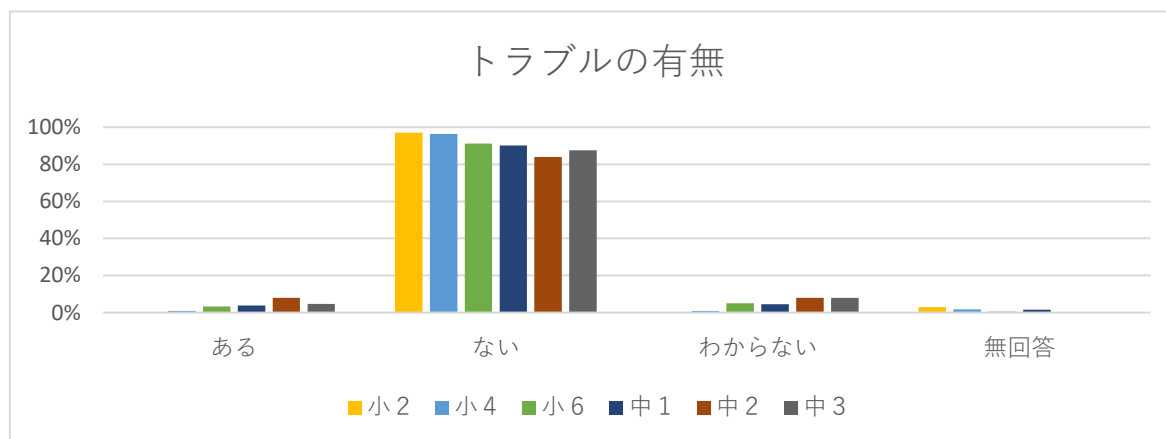
- 小学生： ・兄弟げんかが増えた。
・YouTuberの真似をする。
・長時間の通話による料金が心配。
・友達とのメールやLINEのやり取りが心配。
- 中学生： ・テスト勉強中にスマホに触りたい誘惑に負ける。
・ネットは便利である反面、間違った情報や知識を得てしまうこともある。
・常にスマホに触っている状態が続くようになった。
・親に内緒でネットショッピングをしていた。
・共通の話題も増えたが、スマホをそれぞれで見てしまい、会話が減った。

- ◎ 小中学生ともに、学年を問わず所持の割合は前年度と同程度
- ◎ 持たせた理由としては、親子の連絡方法として利用するためが上位
- ◎ 持たせて良かった点として、子どもの居場所確認できるためが上位
- ◎ 持たせて心配な点として、視力や姿勢などの健康面

3. トラブルについて

(1) トラブルの有無とその内容

- 小学校4年生から中学校1年生では、トラブルは数件だが、中学校2・3年生では10件以上見られた。
- 小学校6年生から中学生で、「わからない」との回答した割合が4～8ポイントあり、やや心配される。



◇その他

- 小学生：
- ・チャットで言い争いをしていた。
 - ・怖いチェーンメールを友達に送られて嫌な思いをした。
 - ・ゲームで仲間外れをしてしまった。
 - ・LINEの内容がよくないと相手の親に怒られた。
- 中学生：
- ・グループLINEで揉めたり、何度もグループに入れられたりした。
 - ・LINEで仲間外れをしてしまった、仲間外れにされた。
 - ・SNSによるいじめをしてしまった。
 - ・グループLINEで発言するたびに、個人LINEでダメ出しが来る。

(2) トラブルの対応＜抜粋＞

小学生

- ・相手に迷惑をかけた時、相手の保護者に謝り、一定期間スマホを使えないようにした。
- ・フィルタの非表示側を間違えて開き、友達と間違えて知らない人に写メを送ってしまったので、フィルタについてしっかりと説明した。

中学生

- ・LINEでのトラブルは、絶対に友達が嫌がるようなことはしないと約束させた。
- ・迷惑なメッセージに対して、相手の親へ内容を開示して家庭内で指導してもらった。
- ・LINEの使い方に問題がある場合は、相手の子ともLINEの使い方について話し合うようにさせた。

(3) 注意していること、させていること＜抜粋＞

小学生

- ・アプリのインストール時に親の承認が強制的に必要なよう設定している。
- ・子どもだけでアプリをインストールできないようにしている。そのアプリが必要かどうか、話し合ってからインストールさせている。
- ・勝手に連絡先を交換させない。必ず相手の親御さんの許可を取る。
- ・LINEに友達登録をする場合は、必ず親も一緒にいる時とする。
- ・写真は絶対に出さない。自分の情報を出さない。
- ・人を傷つける言葉や怖い言葉を使わない。友達との連絡は最低限の内容とすること。
- ・親がいつでも中身を確認したり、抜き打ちでチェックしたりするようにしている。
- ・むやみに投稿しない。言葉以上に文字では意味や感情が正確に伝わりにくいこともあるので、返信する前に意味違いになっていないかしっかり確認する。

中学生

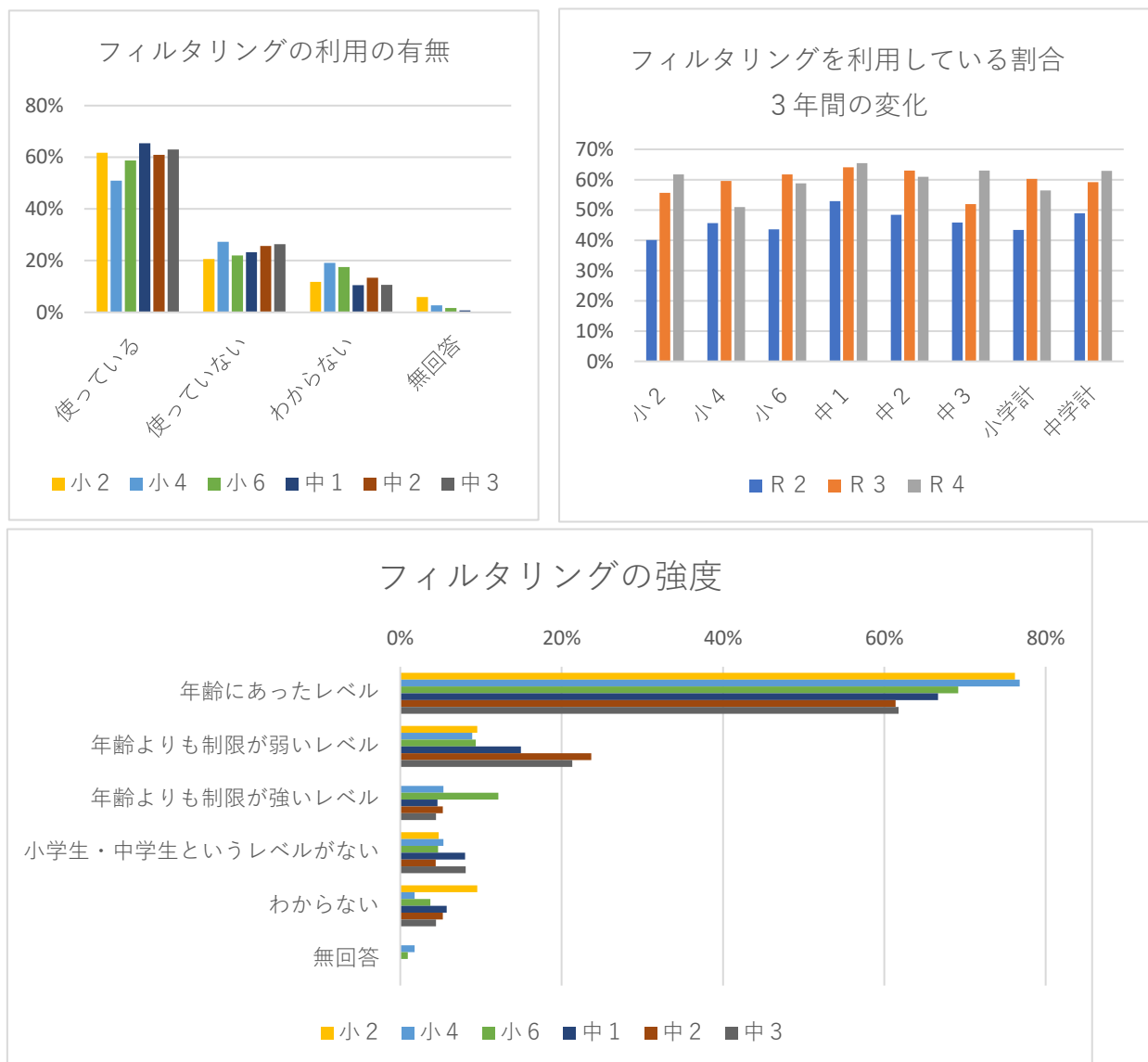
- ・親子間で契約書を作成している。
- ・人の悪口への同調はしない。投稿の際の著作権などの権利問題への注意をさせている。
- ・人を中傷するような内容は書かない。LINEなどでもめた場合は、早めに電話に切り替えたり直接会って話したりするように伝えている。
- ・写真を送る場合は、一生残ってもよいものだけを送るように伝えている。
- ・相手と面と向かって言えないことは書き込みしない。
- ・自分がされて嫌なことは友達にしない。
- ・子ども本人専用で購入したが、あくまでも親から借りているものとしてパスワードは共有するなど、いつでも見ることができるようになっている。
- ・自分で考えさせたり、トラブルについて教えたりしている。
- ・トラブルはグループLINEから始まりやすいので、自分が気になるなら入らないように。
- ・悪いトラブルの事例をよく話して聞かせて、注意を促している。

- ◎ 携帯・スマホの利用に関して、トラブルに巻き込まれた事例がある
- ◎ トラブルの原因としては、SNSによるものが多い
- ◎ トラブルについて、親子間での話し合いが重要
- ◎ 家庭内で注意していることやさせていることが幅広いが、具体的な対応方法を示している家庭もある

4. フィルタリングについて

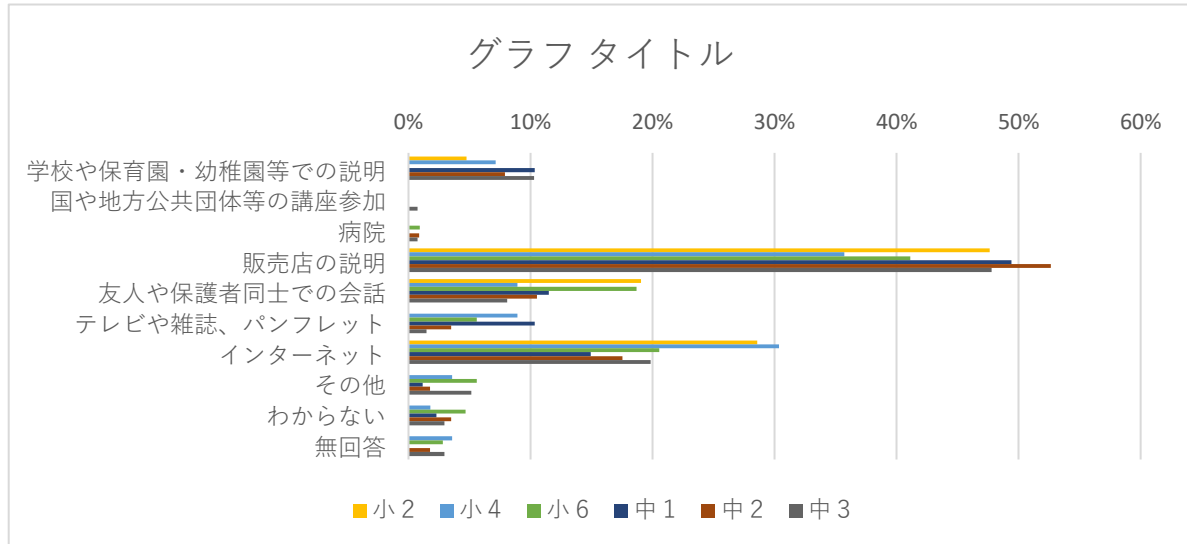
(1) フィルタリングの利用の有無とその強度

- 小中学生ともに、利用の割合は50%～60%となっている。
- 小学生全体では、利用状況がやや下がっているが、中学生では年々上がってきている。
- 「わからない」という回答についての割合が10～20%ある。
- 小中学生ともに、「年齢にあったレベル」の割合が高い。
- 中学生では、「年齢よりも弱いレベル」とした回答の割合が15～20ポイント見られる。



(2) フィルタリングを使うきっかけ

- 小中学生ともに、「販売店の説明」によって設定した割合が高く、「インターネットで知って」が続いている。
- 小学生では、「友人や保護者同士での会話」から設定している場合もみられる。
- 「その他」では、フィルタリングについて保護者の意識の高さが表れた意見もいくつか書かれていた。



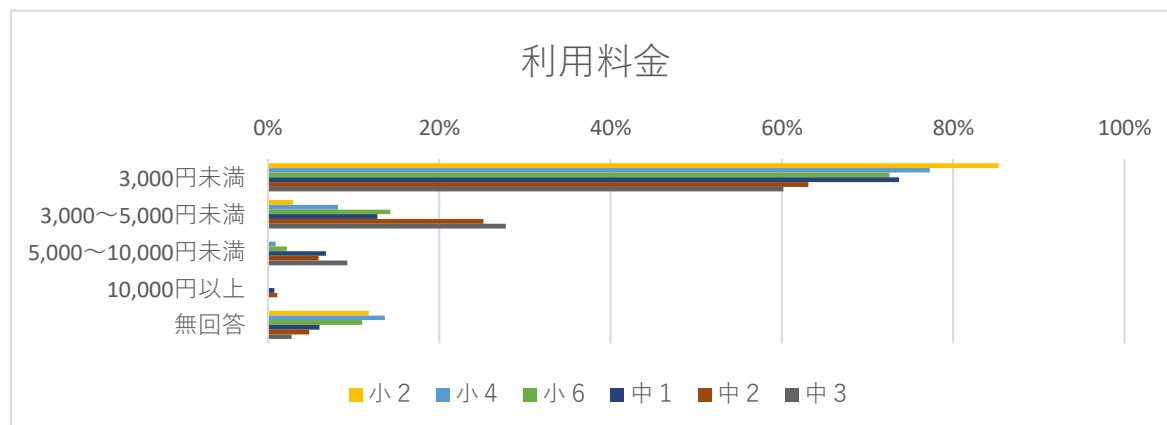
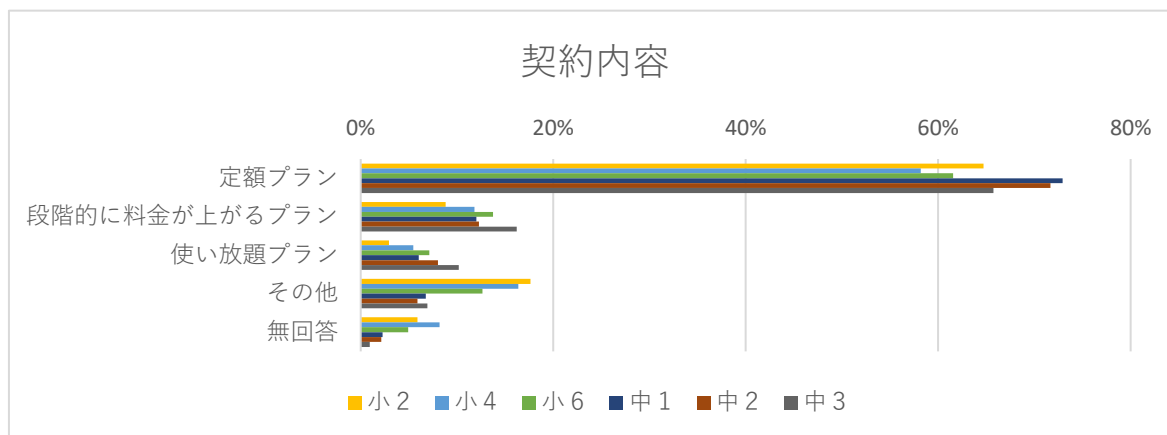
◇その他

- 小学生：
- ・質問の選択肢をすべてを統合して考えた。
 - ・何かあってからでは遅いと考えた。
 - ・当たり前のことと考えている。
- 中学生：
- ・子どもを守るために当然のこと。
 - ・もともと機能を知っていたので設定した。
 - ・人に言われてすることではなく、親の責任として最初から使う予定だった。
 - ・以前から大人でもトラブルに巻き込まれることを知っていたので、判断力・理解力がしっかりつくまでは必要と認識していたため。

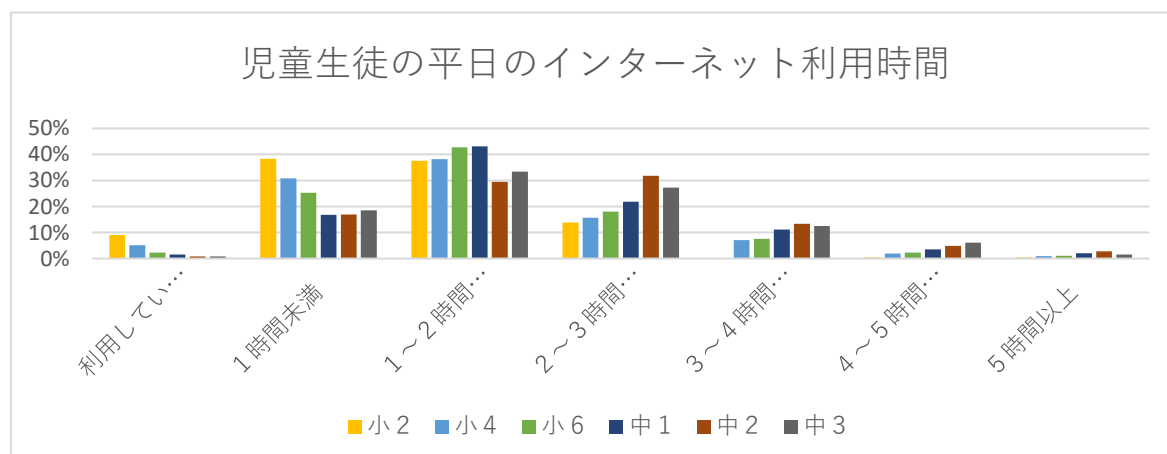
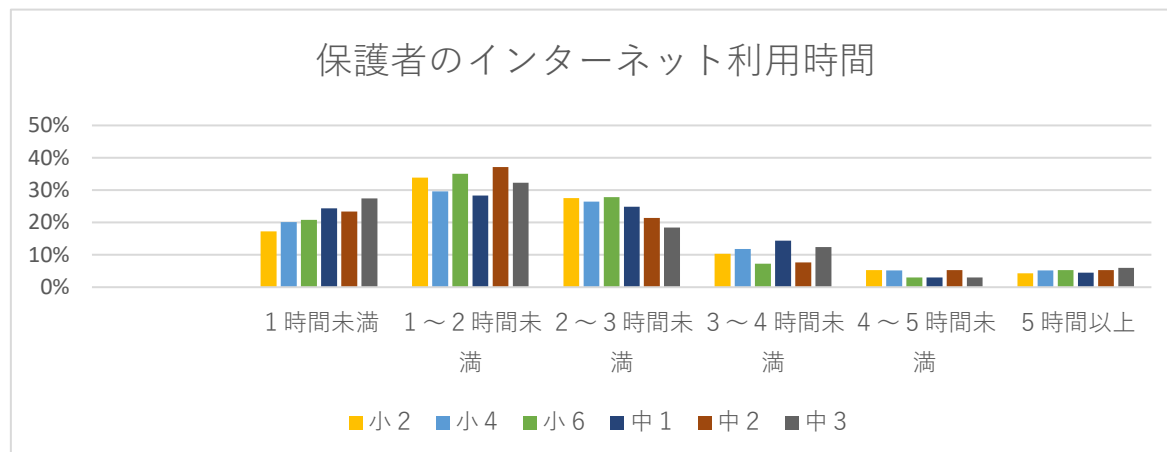
- ◎ フィルタリングの設定状況は6割程度
- ◎ フィルタリングの利用について、「わからない」とした家庭が10～20%
- ◎ フィルタリングの強度は、年齢に合わせたレベルが多いが、中学生では年齢よりも弱いレベルの利用が20%前後
- ◎ 子どもの安全のためにフィルタリングを積極的に利用する保護者もいる
- ◎ フィルタリングの重要性を広めることが重要

4. 携帯・スマホの契約内容や利用料金

- 小中学生ともに、定額プランが最も多く、使用ギガ数は3GBが多かった。
- 小中学生ともに、利用料金は3,000円未満が最も多く、利用料金の支払いは保護者が最も多くなっている。
- 中学生では、小学生に比べて3,000円～5,000円未満の割合が高くなっている。
- 利用料金の支払いは、保護者の割合が最も高く、祖父母の支払いも少しみられる。



5. 保護者自身の携帯・スマホの利用



状況調査の概要

時期 令和4年9月～10月

対象 小2、小4、小6、中学生
各校：該当学年の1クラス
回答は保護者（対象は児童生徒）
※ 該当の児童生徒が重複した場合は、学年の上の子で回答

小学生	1, 048人（抽出率20.6%）
中学生	715人（抽出率13.4%）
合計	1, 763人（抽出率16.9%）

【市内統一事項】

※携帯・スマホ・ゲーム機などの通信機器（以下、スマホなどとする）

- 1 使用の時間帯
 - ・午後10時から翌朝5時までは、スマホなどの通信機器を使用しません
＜小学生は午後9時～翌朝6時＞
- 2 ルールの設定
 - ・スマホなどは、学校や家庭のルールに基づいて使用します
＜学校に持っていきません＞＜保護者と相談してルールを決めます＞
- 3 モラルの遵守
 - ・公共のモラルを守り、電車やバスの中では通話をしません
 - ・「ながら」利用をしません＜自転車乗車中・歩行中・食事中など＞
- 4 個人情報の保護
 - ・SNSに個人が特定される危険がある情報（名前、住所、学校名、顔写真など）を投稿したり、他人の悪口や人を傷つける内容の書き込みをしたりしません
 - ・自分が言われたり、されたりして嫌だと思ふことは絶対にしません
- 5 困ったときの相談
 - ・なりすましや知らない人からのメッセージなどに注意します
 - ・心配なことは保護者や大人に相談します